

科学技術関係人材総合プラン2006 予算案版

参考資料1
科学技術・学術審議会
基本計画特別委員会(12回)
H18. 2. 2

背景

平成18年度予算案額1,592億円(平成17年度予算額 1,508億円)

人材、技術など「知」をめぐる世界的な大競争時代に対応し、多様な研究人材の質的・量的な充実に向け、国境を越えた戦略的取組が必要となっている一方で、我が国は少子高齢化の進展・人口減少を迎えており、科学技術関係人材の質と量の確保をめぐる懸念が高まっている。

このような中、科学技術創造立国の実現に向けて、我が国全体の研究開発や国際競争力を維持・向上させるとともに、安全・安心で質の高い生活環境を構築するためには、科学技術や学術活動の基盤となる人材をいかに養成・確保し、社会の多様な場における活躍を促進していくかが極めて重要な課題となっている。

こうした観点から、文部科学省は、総合科学技術会議における「科学技術に関する基本政策について」に対する答申をふまえつつ、平成18年度予算における重点施策を中心に、当面取り組むべき施策について「科学技術関係人材総合プラン2006」としてとりまとめ、科学技術関係人材の養成・確保に向けた省内体制も強化(人材企画官の新設等人員の増員)しつつ、初等中等教育段階から大学学部、大学院、社会人に至るまで連続性をもった取組を総合的に推進する。

施策の柱

1. 優れた研究者の確保

科学技術関係人材の質と量を確保するため、能力主義に基づき、若手研究者、女性研究者、外国人研究者等、個々の人材が生きるシステムを構築。
66,843百万円(61,583百万円)

2. 社会のニーズに対応した人材養成

科学技術関係人材が、社会のニーズに対応し、様々な分野で高度な専門性を活かして活躍することを促進。
76,286百万円(72,922百万円)

3. 次代を担う人材の裾野の拡大

次代を担う人材の養成に向け、子どもが科学技術を学び親しめる環境を充実。また将来の科学技術をリードしうる人材層を厚く育むため、伸びうる能力を伸長できる環境を提供。
7,627百万円(8,038百万円)

4. 国民の科学技術への理解の増進

わかりやすく親しみやすい形で国民に科学技術を伝え、対話を深めて国民の要望等を科学技術に反映させる活動及び、科学技術に関する基礎的な知識・能力の向上に資する取組を推進。
8,427百万円(8,269百万円)

・予算案は、独立行政法人等運営費交付金中の推計額を含む。

・本資料には、関係事業のうち主要事項を掲載。

・【 】は担当局課及び事業を実施する独立行政法人名(略称) ※[生]:生涯学習政策局、[初]:初等中等教育局、[高]:高等教育局、[科]:科学技術・学術政策局、[振]:研究振興局、[JST]:独立行政法人科学技術振興機構 [JSPS]:独立行政法人日本学術振興会

1. 優れた研究者の確保



平成18年度予算案66,843百万円
(平成17年度予算額 61,583百万円)

・科学技術関係人材の質と量を確保するため、能力主義に基づき、若手研究者、女性研究者、外国人研究者等、個々の人材が生きるシステムを構築。

若手研究者の活躍促進

○若手研究者の自立的な研究環境整備促進 (科学技術振興調整費)

若手研究者に競争的環境の中で自立性と活躍の機会を与える仕組み(テニユア・トラック)を導入する機関を支援。

【科・科学技術振興調整費室】

平成18年度予算案：2,500百万円(新規)

○「若手研究」等の充実 (科学研究費補助金)

採用されたばかりの研究者に対するスタートアップ支援等、科学研究費補助金による若手研究者向け研究費の拡充を図る。

【振・学術研究助成課】

平成18年度予算案：27,820百万円(26,670百万円)

○海外特別研究員事業の充実

我が国の若手研究者を海外の大学等研究機関に派遣する海外特別研究員事業を充実。【科・国際交流官付(JSPS)】

平成18年度予算案：1,682百万円(1,690百万円)

○特別研究員事業の充実

優れた若手研究者が主体的に研究専念できるよう支援する特別研究員事業において、博士課程在学者等に対する支援の拡充を図る。

【科・基盤政策課(JSPS)】

平成18年度予算案：14,499百万円(14,233百万円)

女性研究者の活躍促進

○女性研究者支援モデル育成 (科学技術振興調整費)

女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を継続するための支援を行う仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援。【科・科学技術振興調整費室】

平成18年度予算案：500百万円(新規)

○出産・育児等による研究中断からの復帰支援(新規)

優れた男女の研究者が出産・育児等による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう、特別研究員事業による支援枠を創設。【科・基盤政策課(JSPS)】

平成18年度予算案：131百万円(新規)

○科学技術分野における女性の進路選択支援

科学技術分野における女性の活躍を促進するため、女性研究者・技術者や学生・生徒等の交流、女子生徒の進路選択支援のための情報提供等を実施。【科・基盤政策課】

平成18年度予算案：35百万円(新規)

外国人等の多様な研究者の活躍促進

○外国人研究者の招へい促進と受入環境整備

外国人研究者の招へいの円滑な推進に資するよう、外国人特別研究員事業等を推進するとともに、出入国管理制度や査証制度の運用改善等の検討を推進し、外国人研究者の受入環境を整備。【科・国際交流官付(JSPS)】

平成18年度予算案：7,305百万円(7,701百万円)

2. 社会のニーズに対応した人材養成



・科学技術関係人材が、社会のニーズに対応し、様々な分野で高度な専門性を活かして活躍することを促進。

平成18年度予算案76,286百万円
(平成17年度予算額 72,922百万円)

◆大学院の教育機能強化と産学連携による人材養成

◆科学技術関係人材のキャリアパスの多様化

○「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

現代社会の新たなニーズに応えられる創造的な若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な教育の取組を重点的に支援。【高・大学振興課】
平成18年度予算案：4,200百万円（3,000百万円）

○21世紀COEプログラム

第三者評価に基づく競争原理により、国公立大学を通じて、世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援。【高・大学振興課】
平成18年度予算案：37,800百万円（38,171百万円）

○派遣型高度人材育成協同プラン

大学と企業が一体となって、将来、各研究分野や企業活動において中核的な役割を果たす人材を育成するためのプログラムの開発・実践を支援。【高・専門教育課】平成18年度予算案：247百万円（130百万円）

○先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム（新規）

世界最高水準のITソフトウェア技術者として求められる専門的スキルを有するとともに、社会情勢の変化等に先見性をもって柔軟に対処し、企業等において先導的役割を担う人材を大学院において育成するための拠点形成を支援。【高・専門教育課】
平成18年度予算案：630百万円（新規）

○先端融合領域イノベーション促進拠点事業（科学技術振興調整費）

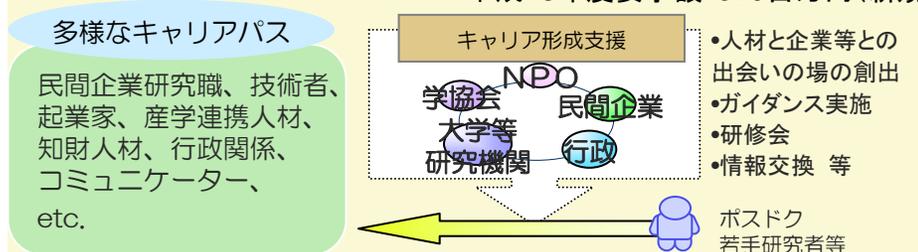
先端融合領域において、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成。【科・科学技術振興調整費室】

平成18年度予算案：4,000百万円（新規）

○科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業（新規）

博士号取得者等が、社会の多様な場において専門性を活かして活躍できるように、行政と大学等研究機関、民間企業、学協会等がネットワークを形成し、若手人材と企業等の出会いと交流の場の創出や、キャリアガイダンスの実施などキャリアパス多様化に向けた組織的支援と環境整備を実施。【科・基盤政策課】

平成18年度要求額：370百万円（新規）



○研究者人材データベース構築事業（JREC-IN）

求職研究者情報と国内の産学官の研究機関における求人公募情報をそれぞれ収集、データベース化し、インターネットを通じて無料で提供。【科・基盤政策課（JST）】
平成18年度予算案：62百万円（63百万円）

○地域再生人材創出拠点の形成（科学技術振興調整費）

大学が有する個性・特色を活かし、将来的な地域産業の活性化や地域の社会ニーズの解決に向けた、科学技術を活用した地域再生のための人材を創出。【科・科学技術振興調整費室】平成18年度予算案：500百万円（新規）

○技術者の継続的能力開発・再教育のための情報提供

科学技術振興機構のWEBラーニングプラザにおいて、ポストク等の自主学習を支援するため、専門知識以外に技術経営、知的財産権の管理等に関する知識を身につけるための教材を提供。【科・基盤政策課（JST）】
平成18年度要求額：105百万円（105百万円）

3. 次代を担う人材の裾野の拡大



平成18年度予算案7,627百万円
(平成17年度予算額8,038百万円)

・次代を担う人材の養成に向け、子どもが科学技術を学び親しめる環境を充実。また将来の科学技術をリードしうる人材層を厚く育むため、伸びうる能力を伸長できる環境を提供。

理数好きな子どもの裾野の拡大

JST 機関連携型科学技術・理科教育支援事業 【科・基盤政策課 (JST)】
(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)

- ◆第一線の研究者、技術者招へいによる講座の実施
- ◆研究機関等を活用した発展的な学習内容の講座の実施や教材の開発
- ◆先進的科学技術に関する教員の研修等

～中学・高校等が対象～ 平成18年度予算案：900百万円 (1,270百万円)

JST IT活用型科学技術・理科教育基盤整備事業 【科・基盤政策課 (JST)】

- ◆最先端の研究成果等を活用した、科学技術・理科教育用デジタル教材の開発

平成18年度予算案：635百万円 (635百万円)

JST 理数大好きモデル地域事業 【初・教育課程課+科・基盤政策課 (JST)】

- ◆学校と科学館の連携による授業の実施、教員の指導力の向上
- ◆科学館職員、研究者やボランティア、企業等の活用による科学的体験や先進的な技術に触れる機会の拡充等

～小・中学校等が対象～ 平成18年度予算案：397百万円 (318百万円)

理科教育等設備整備費補助 【初・教育課程課】

- ◆学校における理科教育等設備整備に対する補助

平成18年度予算案：1,298百万円 (1,298百万円)

理数が得意な子どもの個性・能力の伸長

JST スーパーサイエンスハイスクール支援

- ◆観察・実験等を通じた体験的な学習、問題解決的な学習、課題学習の推進
- ◆理科、数学に重点をおいたカリキュラムの実施
- ◆大学、研究機関、民間企業等との連携による先進的な理数教育の実施、高大接続の改善
- ◆国際性を育てるために必要な語学力の強化等

平成18年度予算案：1,449百万円 (1,348百万円)
【初・教育課程課+科・基盤政策課 (JST)】

**目指せスペシャリスト
(「スーパー専門高校」)**

- ◆先端的技術・技能等を取り入れた教育活動の支援
- ◆大学・産業・研究機関等との効果的な連携

～専門高校が対象～
平成18年度予算案：211百万円 (225百万円)
【初・参事官付】

JST 国際科学技術コンテスト支援

- ◆高校生を対象とした国際科学技術コンテストの開催及び選手の海外派遣、情報周知等の支援
- ◆選手合宿の開催、第一線の研究者による指導の実施等

平成18年度予算案：150百万円 (150百万円)
【科・基盤政策課 (JST)】

4. 国民の科学技術への理解の増進



・わかりやすく親しみやすい形で国民に科学技術を伝え、対話を深めて国民の要望等を科学技術に反映させる活動及び、科学技術に関する基礎的な知識・能力の向上に資する取組を推進。

平成18年度予算案額8,427百万円
(平成17年度予算額 8,269百万円)

社会のための科学技術の実現

科学技術振興調整費重要課題 解決型研究におけるアウト リーチ活動経費の充当

◆直接経費の概ね3%に相当する経費を
アウトリーチ活動に充当

【科・科学技術振興調整費室】

JST 研究者情報発信活動推進 モデル事業

- ◆研究者等と国民の双方が利用できる総合相談窓口の設置
- ◆研究者情報発信ウェブサイトの構築
- ◆研究者自身が行う優れたアウトリーチ活動の支援
- ◆アウトリーチ活動を行う研究者が参画する講演会やイベントの支援

平成18年度予算案：200百万円（200百万円）

【科・基盤政策課(JST)】

科学技術振興調整費新興分野 人材養成「科学技術コミュニ ケーター」養成領域

◆科学技術コミュニケーター養成に関する
3課題を実施

- ・科学技術インタープリター養成プログラム
- ・科学技術コミュニケーター養成ユニット
- ・科学技術ジャーナリスト養成プログラム

【科・科学技術振興調整費室】

科学技術に関する知識や能力の向上

国立科学博物館事業

平成18年度予算案：4,458百万円（4,354百万円）

【生・社会教育課】

JST 日本科学未来館事業

平成18年度予算案：2,938百万円（2,978百万円）

【科・基盤政策課(JST)】



先駆的科学技術展示開発事業

◆最先端の科学技術を身近に感じ体験できる
展示の開発・国内外の科学館等への巡回

平成18年度予算案：300百万円（253百万円）【科・基盤政策課(JST)】



放送技術活用型コンテンツ開発事業

◆科学技術番組を製作・CS放送等を通じ配信

平成18年度予算案：182百万円（182百万円）

【科・基盤政策課(JST)】

●科学技術関係人材総合プラン2006

平成18年度予算案:159,183百万円
(平成17年度予算額:150,812百万円)

知を活用する人材 知を創造する人材

人材の理盤づくり

※各項目の数字は18年度予算案、()は17年度予算額

社会ニーズに対応した人材養成

キャリアパスの多様化

- 科学技術関係人材の**キャリアパス多様化促進** 370百万円(新規)
- 研究者の**求人・求職情報**の提供(研究者人材データベース JREC-IN) 62百万円(63百万円)
- 地域再生人材創出拠点の形成**(科学技術振興調整費) 500百万円(新規)
- 技術者の継続的能力開発・再教育のための情報提供** 105百万円(105百万円)

大学院強化と産学連携による人材養成

- 「**魅力ある大学院教育**」イニシアティブ 4,200百万円(3,000百万円)
- 21世紀COEプログラム** 37,800百万円(38,171百万円)
- 派遣型高度人材育成協同プラン**(質の高い長期インターンシップ) 247百万円(130百万円)
- 先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム** 630百万円(新規)
- 先端融合領域イノベーション促進拠点事業**(科学技術振興調整費) 4,000百万円(新規)

優れた研究者の確保

若手の活躍促進

- 若手研究者の自立的研究環境整備促進**(科学技術振興調整費) 2,500百万円(新規)
- 「**若手研究**」等の**充実**(科学研究費補助金) 27,820百万円(26,670百万円)
- 博士課程学生等に対する経済的支援**(特別研究員事業) 14,499百万円(14,233百万円)
- 若手研究者の**海外派遣**(海外特別研究員事業) 1,682百万円(1,690百万円)

女性研究者の活躍促進

- 女性研究者支援モデル育成**(科学技術振興調整費) 500百万円(新規)
- 育児等による研究中断からの復帰支援**(特別研究員事業) 131百万円(新規)
- 科学技術分野における**女性の進路選択支援**(交流や情報提供等) 35百万円(新規)

外国人等の多様な研究者の活躍促進

- 外国人研究者の招へい**(外国人特別研究員事業等) 7,305百万円(7,701百万円)

次代を担う人材の裾野の拡大

理数好きな子どもの裾野の拡大

- サイエンス・パートナーシップ・プログラム**(機関連携型科学技術・理科教育支援事業) 900百万円(1,270百万円)
- 理数大好きモデル地域事業** 397百万円(318百万円)
- 理科教育等設備整備費補助**(小中学校の理科教育教材等の整備) 1,298百万円(1,298百万円)

理数が得意な子どもの個性・能力の伸長

- スーパーサイエンスハイスクール** 1,449百万円(1,348百万円)
- 目指せスペシャリスト**(「スーパー専門高校」) 211百万円(225百万円)
- 国際科学技術コンテストへの参加に対する支援** 150百万円(150百万円)

国民の科学技術への理解の増進

社会のための科学技術の推進

- 研究者情報発信活動推進モデル事業** 200百万円(200百万円)

科学技術に関する知識や能力の向上

- 日本科学未来館事業** 2,938百万円(2,978百万円)